



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 裕

TEL 06-6208-3971

定時株主総会開催予定日 2020年6月19日

配当支払開始予定日

2020年6月22日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,414	8.2	1,000	29.4	1,017	29.4	714	29.8
2019年3月期	9,162	17.2	1,416	59.0	1,440	56.8	1,018	35.2

(注) 包括利益 2020年3月期 661百万円 (27.4%) 2019年3月期 911百万円 (22.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	99.47		10.2	9.3	11.9
2019年3月期	141.73		15.6	13.7	15.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 2百万円 2019年3月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	10,948	7,139	65.2	993.69
2019年3月期	11,020	6,873	62.4	956.70

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,139百万円 2019年3月期 6,873百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,340	148	464	2,564
2019年3月期	1,203	270	379	1,839

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		10.00		35.00	45.00	323	31.8	4.7
2020年3月期		20.00		25.00	45.00	323	45.2	4.6
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点では業績予想が困難であるため未定としております。今後、予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響は足元においては大きく出ていないものの、先行き、世界経済及び当社業績に与える影響に関しましては、現段階において合理的に算定することが困難であることから、次期の業績予想につきましては未定としております。

今後、合理的な予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,728,540 株	2019年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2020年3月期	543,766 株	2019年3月期	543,706 株
期中平均株式数	2020年3月期	7,184,800 株	2019年3月期	7,185,041 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
品目別売上・受注高	13

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、堅調な雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調が持続していたものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念などから次第に生産や輸出に弱さがみられました。また、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が消費動向や経済活動に大きく影響しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、国内では、企業の設備投資計画が見直された影響から、前期は多数の受注があった大口案件が減少したことに加えて、海外向けでも、韓国企業の設備投資に遅れが生じたため、総じて低調に推移しました。

以上の結果、売上高は、84億14百万円（前期比8.2%減）と減少しました。

利益面につきましては、減収が大きく響き、売上総利益は、37億25百万円（同10.4%減）と減少しました。また、販売費及び一般管理費は、海外代理店向けの販売手数料が減少したものの、組織体制の強化に伴い人件費等が増加したことによって、全体としては微減に留まり、営業利益は、10億円（同29.4%減）、経常利益は、10億17百万円（同29.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、7億14百万円（同29.8%減）とそれぞれ減益となりました。なお、新型コロナウイルス感染症が当連結会計年度の経営成績に与える影響は軽微であります。

主な品目別販売実績は以下のとおりであります。

<定量ポンプ>

国内市場は、上期は前期から引き続き好調に推移しましたが、下期に入り多くの業界向けで受注が伸び悩み、通期では前期並みには至りませんでした。

当社の主力製品である「スムーズフローポンプ」については、好調に推移してきたEV車載関連や5G関連市場とその素材などのファインケミカル業界においても、世界経済の減速懸念から設備投資に様子見感があり、受注に前期ほどの力強さが見られず、売上が減少しました。また、汎用モーターポンプについても、前期は工場設備の更新や増設案件が追い風となった水処理プラント設備関連向けや、オリンピック・インバウンド需要を背景に好調であったホテルや工場の新設・更新に伴う空調ボイラ・滅菌・殺菌設備の需要もやや減速感があり、売上が減少しました。

海外市場は、前期の大型投資の反動で減収となりました。韓国の二次電池業界における設備投資の動きが、米中貿易問題による経済減速の影響で期初の見込みより遅れ、「スムーズフローポンプ」の売上が減少したほか、米国でもソレノイドポンプ及び汎用モーターポンプの販売が低迷し、前期を下回りました。

このような中において、微量制御型スムーズフローの「Qシリーズ」は着実に販売実績を積み上げており、2015年の発売開始以来、新たなお客様との出会いを創出し、ユーザーニーズに答えるべくラインナップを拡充したことにより、幅広い用途で評価をいただけるようになりました。Qシリーズのラインナップ化により実験・ラボからベンチプラント・生産設備へのスケールアップに「スムーズフローポンプ」の採用が広がり、今後の業績貢献が期待されます。

以上の結果、定量ポンプの売上高は、47億77百万円（前期比13.6%減）となりました。

<ケミカル移送ポンプ>

エア駆動式ポンプは前期に及びませんでした。また、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」は、製鉄市場の低迷で新規の設備投資が抑制される中でも、効率性が評価され、設備のリニューアルについて大口案件を受注しました。

以上の結果、ケミカル移送ポンプの売上高は、7億14百万円（前期比0.9%減）となりました。

<計測機器・装置>

前期に引き続き、水処理設備向けで「pH中和処理装置」の大型物件や設備更新案件などを受注したことにより好調に推移し、売上を伸ばしました。

以上の結果、計測機器・装置の売上高は、15億6百万円（前期比3.7%増）となりました。

<流体機器>

食品業界やケミカル業界向けで大型物件を受注したことにより、堅調に推移しました。

以上の結果、流体機器の売上高は、4億67百万円（前期比1.6%増）となりました。

<ケミカルタンク>

前期のプラント及びケミカル業界向けの積極投資の反動もあり、前期には及びませんでした。

以上の結果、ケミカルタンクの売上高は、6億15百万円（前期比8.2%減）となりました。

<その他>

その他には、ウェルネス事業部の売上高と立会調整費やメンテナンス等の売上高が含まれています。

その他の売上高は、3億33百万円（前期比1.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて71百万円減少し、109億48百万円となりました。

流動資産は1億3百万円増加し、70億73百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加7億67百万円、売上債権の減少5億63百万円、たな卸資産の減少90百万円であります。

固定資産は1億74百万円減少し、38億75百万円となりました。増減内訳は、有形固定資産の減少46百万円、無形固定資産の増加3百万円、投資その他の資産の減少1億31百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3億37百万円減少し、38億9百万円となりました。

流動負債は7億33百万円減少し、24億70百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の増加10百万円、短期借入金の減少4億17百万円、未払法人税等の減少2億41百万円、賞与引当金の減少11百万円であります。

固定負債は3億96百万円増加し、13億38百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加3億50百万円、退職給付に係る負債の増加40百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2億65百万円増加し、71億39百万円となりました。主な増減内訳は、親会社株主に帰属する当期純利益7億14百万円から配当金3億95百万円の支払い等を差し引いた利益剰余金の増加3億19百万円、その他有価証券評価差額金の減少49百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.4%から65.2%へと2.8ポイント上昇いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて7億25百万円増加し、25億64百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて1億37百万円増加し、13億40百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益10億26百万円、減価償却費2億37百万円、売上債権の減少5億58百万円、たな卸資産の減少90百万円による資金の増加及び法人税等の支払5億45百万円による資金の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて1億22百万円支出が減少し、1億48百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入3億円による資金の増加及び有形固定資産の取得による支出1億61百万円、無形固定資産の取得による支出46百万円、投資有価証券の取得による支出2億1百万円による資金の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて85百万円支出が増加し、4億64百万円の支出となりました。これは主に、借入金の減少67百万円、配当金の支払3億96百万円による資金の減少によるものであります。

また、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりです。

	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	62.4%	65.2%
時価ベースの自己資本比率	120.6%	79.1%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.38年	0.29年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	541.97	818.04

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息の支払額

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は足元においては大きく出ていないものの、先行き、世界経済及び当社業績に与える影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから、次期の業績予想につきましては未定としております。

今後、合理的な予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位への利益還元を経営の最重要課題と位置づけており、継続的な配当の実施を基本方針としております。

配当性向は30%～50%を目安とし、毎年の業績変動に柔軟に対処するため直近5年間の配当性向を参考に判断し、増配の継続に努めます。また、利益の向上を通じで企業価値向上をはかるべく、内部留保資金は、将来の成長分野への重点投資に有効活用いたします。

当期末の一株当たり配当金につきましては、25円を予定しております。その結果、当期の年間配当金は中間配当金20円を含め、計45円を予定しております。

また、次期の一株当たり配当金につきましては、現段階では業績予想が困難であることから未定としております。今後、予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者は、主として国内の株主、債権者、取引先であり、また海外からの資金調達の実現性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、他社のIFRS適用についての動向を踏まえたうえで、対応の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,437	2,704,936
受取手形及び売掛金	3,894,188	3,330,907
商品及び製品	89,310	113,537
仕掛品	8,315	5,669
原材料及び貯蔵品	1,002,699	890,140
その他	41,459	30,875
貸倒引当金	△3,018	△2,626
流動資産合計	6,970,393	7,073,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,496,229	1,429,172
機械装置及び運搬具（純額）	178,880	160,796
土地	593,296	632,687
その他（純額）	149,791	148,542
有形固定資産合計	2,418,198	2,371,198
無形固定資産	108,222	111,934
投資その他の資産		
投資有価証券	873,736	701,619
繰延税金資産	299,633	322,037
退職給付に係る資産	61,870	62,146
その他	289,430	306,548
貸倒引当金	△1,190	—
投資その他の資産合計	1,523,479	1,392,352
固定資産合計	4,049,899	3,875,485
資産合計	11,020,292	10,948,926

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,629,756	1,640,525
短期借入金	455,324	38,000
未払法人税等	355,747	114,371
賞与引当金	260,000	249,000
その他	503,369	428,815
流動負債合計	3,204,197	2,470,712
固定負債		
長期借入金	—	350,000
再評価に係る繰延税金負債	26,734	26,734
退職給付に係る負債	716,464	757,044
その他	199,147	205,005
固定負債合計	942,346	1,338,784
負債合計	4,146,543	3,809,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	730,599	730,599
利益剰余金	5,426,350	5,745,626
自己株式	△322,333	△322,437
株主資本合計	6,727,615	7,046,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,180	130,756
繰延ヘッジ損益	243	103
土地再評価差額金	2,853	2,853
為替換算調整勘定	15,438	7,563
退職給付に係る調整累計額	△52,581	△48,634
その他の包括利益累計額合計	146,133	92,642
純資産合計	6,873,749	7,139,429
負債純資産合計	11,020,292	10,948,926

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	9,162,293	8,414,614
売上原価	5,003,556	4,688,968
売上総利益	4,158,737	3,725,645
販売費及び一般管理費	2,742,090	2,725,625
営業利益	1,416,646	1,000,020
営業外収益		
受取利息	3,318	7,242
受取配当金	13,934	14,467
持分法による投資利益	1,097	2,259
為替差益	2,023	—
保険返戻金	50	4,240
その他	22,664	9,813
営業外収益合計	43,088	38,023
営業外費用		
支払利息	2,434	1,648
売上割引	6,714	7,937
為替差損	—	71
寄付金	8,000	8,000
投資有価証券運用損	—	2,882
その他	2,186	141
営業外費用合計	19,335	20,680
経常利益	1,440,400	1,017,362
特別利益		
固定資産売却益	—	11,594
特別利益合計	—	11,594
特別損失		
固定資産除却損	4,805	2,156
減損損失	5,667	—
特別損失合計	10,473	2,156
税金等調整前当期純利益	1,429,926	1,026,801
法人税、住民税及び事業税	477,978	314,404
法人税等調整額	△66,422	△2,290
法人税等合計	411,555	312,113
当期純利益	1,018,370	714,687
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,018,370	714,687

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
当期純利益	1,018,370	714,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102,887	△49,424
繰延ヘッジ損益	24	△139
為替換算調整勘定	△10,324	△7,874
退職給付に係る調整額	6,164	3,947
その他の包括利益合計	△107,022	△53,491
包括利益	911,347	661,196
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	911,347	661,196
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	892,998	730,599	4,659,616	△321,744	5,961,470
当期変動額					
剰余金の配当			△251,636		△251,636
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,018,370		1,018,370
自己株式の取得				△589	△589
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	766,734	△589	766,144
当期末残高	892,998	730,599	5,426,350	△322,333	6,727,615

	その他の 包括利益累計額						純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	283,067	218	2,853	25,762	△58,746	253,156	6,214,627
当期変動額							
剰余金の配当							△251,636
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,018,370
自己株式の取得							△589
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△102,887	24		△10,324	6,164	△107,022	△107,022
当期変動額合計	△102,887	24	—	△10,324	6,164	△107,022	659,121
当期末残高	180,180	243	2,853	15,438	△52,581	146,133	6,873,749

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	892,998	730,599	5,426,350	△322,333	6,727,615
当期変動額					
剰余金の配当			△395,412		△395,412
親会社株主に帰属する 当期純利益			714,687		714,687
自己株式の取得				△103	△103
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	319,275	△103	319,171
当期末残高	892,998	730,599	5,745,626	△322,437	7,046,787

	その他の 包括利益累計額						純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	180,180	243	2,853	15,438	△52,581	146,133	6,873,749
当期変動額							
剰余金の配当							△395,412
親会社株主に帰属する 当期純利益							714,687
自己株式の取得							△103
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△49,424	△139		△7,874	3,947	△53,491	△53,491
当期変動額合計	△49,424	△139	—	△7,874	3,947	△53,491	265,680
当期末残高	130,756	103	2,853	7,563	△48,634	92,642	7,139,429

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,429,926	1,026,801
減価償却費	238,221	237,834
減損損失	5,667	—
固定資産除却損	4,805	2,156
固定資産売却損益（△は益）	—	△11,594
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,495	△1,583
賞与引当金の増減額（△は減少）	21,674	△11,000
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	57,056	52,213
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△5,193	△6,221
受取利息及び受取配当金	△17,253	△21,710
支払利息	2,434	1,648
持分法による投資損益（△は益）	△1,097	△2,259
売上債権の増減額（△は増加）	△486,298	558,231
たな卸資産の増減額（△は増加）	74,941	90,929
仕入債務の増減額（△は減少）	58,430	10,794
未払消費税等の増減額（△は減少）	40,275	△15,813
その他	68,592	△44,611
小計	1,493,679	1,865,816
利息及び配当金の受取額	17,048	22,355
利息の支払額	△2,220	△1,638
法人税等の支払額	△304,988	△545,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,203,518	1,340,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△117,300	△182,890
定期預金の払戻による収入	105,300	129,300
有形固定資産の取得による支出	△150,825	△161,227
無形固定資産の取得による支出	△17,984	△46,510
有形固定資産の売却による収入	—	11,595
投資有価証券の取得による支出	△201,341	△201,428
投資有価証券の償還による収入	100,000	300,025
投資事業組合からの分配による収入	13,780	2,850
その他	△1,779	224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,152	△148,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	410,000	240,000
短期借入金の返済による支出	△450,000	△292,000
長期借入れによる収入	—	350,000
長期借入金の返済による支出	△84,552	△365,324
自己株式の取得による支出	△589	△103
配当金の支払額	△251,246	△396,256
その他	△3,104	△1,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△379,492	△464,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,320	△2,301
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	545,553	725,348
現金及び現金同等物の期首残高	1,293,584	1,839,137
現金及び現金同等物の期末残高	1,839,137	2,564,486

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	956円70銭	993円69銭
1株当たり当期純利益	141円73銭	99円47銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	1,018,370	714,687
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	1,018,370	714,687
普通株式の期中平均株式数（株）	7,185,041	7,184,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

品目別売上・受注高

(1)売上高

(単位：百万円)

品目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
		%		%		%
定量ポンプ	5,528	60.3	4,777	56.8	△750	△13.6
ケミカル移送ポンプ	721	7.9	714	8.5	△6	△0.9
計測機器・装置	1,453	15.9	1,506	17.9	53	3.7
流体機器	460	5.0	467	5.6	7	1.6
ケミカルタンク	670	7.3	615	7.3	△55	△8.2
その他	328	3.6	333	3.9	4	1.4
合 計	9,162	100.0	8,414	100.0	△747	△8.2
(うち海外)	(1,324)	(14.5)	(753)	(9.0)	(△571)	(△43.1)

(注) 1. 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		増 減		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
		%		%		%	
受 注 高	定量ポンプ	5,361	59.1	4,937	57.2	△424	△7.9
	ケミカル移送ポンプ	811	9.0	700	8.1	△111	△13.7
	計測機器・装置	1,458	16.1	1,515	17.6	57	3.9
	流体機器	453	5.0	495	5.7	41	9.3
	ケミカルタンク	647	7.1	643	7.5	△3	△0.6
	その他	335	3.7	336	3.9	1	0.5
	合 計	9,067	100.0	8,628	100.0	△438	△4.8
(うち海外)	(1,087)	(12.0)	(975)	(11.3)	(△112)	(△10.3)	
受 注 残 高	定量ポンプ	444	48.3	604	53.3	159	36.0
	ケミカル移送ポンプ	164	17.9	150	13.3	△13	△8.3
	計測機器・装置	190	20.7	199	17.6	9	4.8
	流体機器	52	5.7	79	7.1	27	51.7
	ケミカルタンク	43	4.8	71	6.3	27	64.0
	その他	23	2.6	27	2.4	3	15.7
	合 計	919	100.0	1,133	100.0	214	23.3
(うち海外)	(67)	(7.3)	(289)	(25.5)	(221)	(327.9)	

(注) 1. 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。